

# 局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

<b>局名</b>	<b>港湾空港局</b>
-----------	--------------

<b>基本計画</b>	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	世界に広がる市民環境力の発揮
	取組みの方針	環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環

担当局 / 総務担当課名	港湾空港局	総務経営課
連絡先	3 2 1 - 5 9 1 1	

21年度計画

-1-(1)-

<b>施策名</b>	<b>地域の環境特性を活かした取組みの推進</b>
------------	---------------------------

<b>施策の概要</b>	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	北九州市の環境改善のシンボルである洞海湾に対する市民の愛着心を育み、市民と協働で環境改善に取り組むため、ムラサキガイを使った市民参加型環境修復手法(マイロープ・マイ堆肥)を小学校や市民団体、NPO法人と実施するとともに、干潟、藻場などを活用した新たな市民参加型の環境修復手法の検討を進め、市民が気軽に親しむことのできる水辺環境を実現します。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環

成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)	現状値		計画	平成21年度		目標値	
	年度	20		実績	600 人	年度	平成25年度
市民参加による洞海湾の環境修復検討事業に参加する人数	年度	20	実績	599 人	目標値	800人	
「ムラサキガイを使った洞海湾の環境修復体験教室」、「干潟、藻場を使った環境修復検討」市民参加の人数は市民に環境改善事業を周知した事の指標となると考えるため、成果指標として設定します(目標値:約50人×16回開催)。	現状値	619人	達成度	99,8 %			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
	年度		達成度	%			
	年度		計画		年度		
	現状値		実績		目標値		
	年度		達成度	%			
	現状値		実績		目標値		
<b>コスト</b>	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]		事業費	2,871 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)		
			うち一般財源	2,871 千円	5,220 千円		

## 局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	<b>B</b>	ムラサキガイを使った環境修復については、環境修復手法が確立されており市民参加の体験学習を通じて環境修復意識向上に繋がっています。また、干潟、藻場を使った環境修復に関しては今後の課題だと考えています。
<b>今後の局施策の方向性</b>	「ムラサキガイを使った洞海湾の環境修復体験教室」については、洞海湾沿岸の小学校の参加があり、確実に地域に定着しつつあります。今後については、小学生以外の市民参加者数増加に向けての取り組みが必要だと考えています。また、新たな市民参加型環境修復手法の検討や民間やNPO法人に委託するなど経済性や効率性を高めていく検討が必要であると思いません。	

【局施策評価】 A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

## 評価担当部署の意見

適切な評価  下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。



# 事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	港湾空港局	総務経営課
連絡先	321-5939	

基本計画	柱	環境を未来に引き継ぐ
	大項目	世界に広がる市民環境力の発揮
	取組みの方針	環境活動と地域コミュニティ活性化の好循環
	主要施策	地域の環境特性を活かした取組みの推進

関連計画	
事業期間	平成15年度～
経費区分	裁量の経費

-1-(1)-

事業名	市民参加による洞海湾の環境修復検討事業					
-----	---------------------	--	--	--	--	--

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	北九州市の環境改善のシンボルである洞海湾に対する市民の愛着心を育み、市民と協働で環境改善に取り組むため、ムラサキガイを使った市民参加型環境修復手法(マイロープ・マイ堆肥)を小学校や市民団体、NPO法人と実施するとともに、干潟、藻場などを活用した新たな市民参加型の環境修復手法の検討を進め、市民が気軽に親しむことのできる水辺環境を実現します。				
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	地域の環境特性を活かした取組みの推進	成果	市民参加による洞海湾の環境修復検討事業に参加する人数	

目的実現の為に実施する内容	実施工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	計画変更理由		
		当初計画	のべ参加者数600人 (体験教室 12回/年)	のべ参加者数600人 (体験教室 12回/年)	のべ参加者数600人 (体験教室 12回/年)	のべ参加者数700人 (体験教室 14回/年)		のべ参加者数800人 (体験教室 16回/年)	
現状		のべ参加者数600人 (体験教室 12回/年)	のべ参加者数600人 (体験教室 12回/年)	のべ参加者数600人 (体験教室 12回/年)	のべ参加者数700人 (体験教室 14回/年)	のべ参加者数800人 (体験教室 16回/年)			
実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)					平成21年度	目標		
	環境修復事業に参加する人数					計画	600 人	年度	H25年度
	洞海湾に対する市民の愛着心を育み、市民と協働で環境改善に取り組む、市民が気軽に水辺に親しんでもらうためには、「洞海湾におけるムラサキガイを使った洞海湾の環境修復体験教室」など本事業に多くの市民に参加してもらう必要があります。					実績	599 人	内容	800人
						達成度	99.8 %		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]					事業費	2,871 千円	事業にかかった 人件費の目安(21年度)	5,220 千円
						うち一般財源	2,871 千円		
単年度計画									

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	21年度は洞海湾周辺にある若松中央小、修多羅小、牧山小の5年生を対象に「ムラサキガイを使った洞海湾の環境修復体験教室」を実施し参加者数は当初計画(約50人/校×3校×4回開催)を達成しています。
------	-------------------------------------	---

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	ムラサキガイを使った環境修復については手法が確立されており、市民参加の体験学習を通じて環境修復意識向上に繋がっています。また、干潟、藻場を使った環境修復に関しては今後の新たな市民参加型の環境修復手法として検討中です。	
	経済性・効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか。または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4: 高い 3: やや高い	3	環境修復手法に関する経験、ノウハウ及び洞海湾の水環境に関する専門知識があり且つコスト削減が可能な民間やNPO法人に委託することを検討するなど、さらに経済性や効率性を高めていく取組が必要だと考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	2: やや低い 1: 低い	4	環境首都を目指す今、本事業で市民の環境意識向上を図る必要があります。また藻場、干潟調査は毎年行なう事が必要であり、行なわない場合、調査データの連続性がなくなり、今後の調査に支障が発生します。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか。市の関与をなくすことはできないのか。		4	洞海湾について長期間調査を行っており専門性が高いため、現在のところ他の実施主体は考え難く市主体で実行するのが適当と考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	「ムラサキガイを使った洞海湾の環境修復体験教室」については、洞海湾沿岸の小学校の参加があり、確実に地域に定着しつつあります。今後については、小学生以外の市民参加者数増加に向けての取り組みが必要です。H23年度から市民の環境意識を高め広げるために、市民が気軽に取り組める新たな環境修復学習システムを構築します。新手法を取り入れることにより、体験学習の開催回数を増やすことが可能となり、参加者の拡大が期待できます。また、新たな市民参加型環境修復手法の検討や民間やNPO法人に委託するなど経済性や効率性を高めていく検討が必要です。	